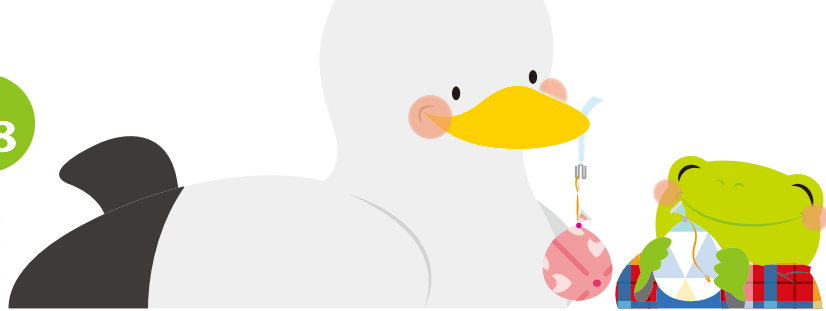


大船渡だより



大船渡ベースの活動紹介

地域のイベントや活動紹介

七夕ゼリーを作ろう♪

7月最初の土曜日。今回は『七夕ゼリーを作ろう』ということで皆さんに集まっていただきました。

スタッフが前日に水色のゼリーを作り、当日はフルーツやカラフルなタピオカなどで飾ることにしました。子供達は、水色のゼリーをフォークで上手にクラッシュし、苦戦しながらも、フルーツも星型やハート型に型抜きしました。透明なプラスチックのカップに盛り付けると、「キレイだねー、海みたいだね。」と笑っていました。子供達は、自分のゼリーをあつという間に完成させた後、これから来る方々の分も作ってくれました。そして、出来上がったゼリーの前で写真を撮った後は、待ちきれなかったように「いただきます！」と美味しそうに食べていました。



その後はスタッフに紙芝居を読んでもらったり、ホワイトボードに描いた笹にお願い事を書いた短冊を貼ったりして遊びました。近隣のご高齢の方々がいらっしやると、子供達がゼリーを席まで運び、「どーぞ。」とニコリ笑って渡している姿がとても可愛らしく、ちゃんとお手伝いできる事にも感心しました。

今年も恒例の夏まつり開催!

大船渡市の恒例の夏のイベント『三陸・大船渡夏まつり』が、8月2・3日の2日間開催されました。東日本大震災からの復興が進む中、9年ぶりに中心市街地である大船渡駅周辺地区で行なわれました。



初日は眩いばかりのイルミネーションと大漁旗に彩られた海上七夕船団が、大船渡湾内を巡航しました。

2日目、夏らしく暑い青空のもと、岸壁に接岸した『大船渡丸』の特設ステージにおいて、地元出身や大船渡にゆかりのある歌手の熱いステージが繰り広げられ、観客を魅了しました。市民道中踊りには震災後最も多い28団体、1,300人を超える人々が参加し、『気仙甚句囃子』と『おおふなと椿音頭』を踊り、街は熱気に包まれました。



フィナーレは、8,000発を打ち上げる花火大会。湾内の台船から打ち上げられた色鮮やかな花火、海の水面において花開く水中花火も観客の目を惹きました。今大会の呼び物、ウルトラスーパージャンボスターマインが打ち上げられると、まつりは最高潮。締めくくりには延長50mにわたる『ナイヤガラの滝』が震災後初めて実施されました。黄金色に輝く滝に観客から拍手と歓声が沸き上がりました。

2019年7月1日~31日の活動紹介

※随時、ベースでお茶つこと在宅訪問をしています。

- 2日:個人依頼 ゴミ捨て・買い物補助 3日:買物送迎/平南アパート 映画/手芸サロン
- 4日:所通東アパート 焼きそば
- 6日:ママサロン 七夕ゼリーを作ろう/買物送迎
大船渡教会支援 ブロックロザリオ参加・初聖体準備/被災地見学
- 9日:第4回東日本大震災応援ツアー/ほしっこクラブ(海の星幼稚園未就園児教室補助)
- 10日:第4回東日本大震災応援ツアー/買物送迎/手芸サロン
- 13日:買物送迎/カリタスシネマ
- 16日:上山東アパート お茶つこサロン/川原アパート お茶つこサロン
- 17日:買物送迎/普門寺 座禅・清掃/手芸サロン/被災地見学
- 18日:清水アパート 告知訪問 19日:託児ボランティア(保健介護センター)
- 20日:買物送迎 24日:買物送迎/清水アパート たこ焼き/手芸サロン
- 25日:個人依頼 手続き補助
- 26日:個人依頼 しいたけ農家支援/個人依頼 草取り/外国人支援
たかたゆめキッチン 調理補助
- 27日:買物送迎/みんなでお昼ごはん&高校生とレク
- 28日:被災地見学/大船渡教会 ミサと交流
- 31日:買物送迎/キャッセン大船渡 藻-ストバスターズ

全員で心を込めて

今年も、大阪信愛学院の高校生8名と引率の先生1名が、ボランティアとして来てくださいました。

活動の2日目に陸前高田市の普門寺に行き、まずは副住職から、700年以上前からあるお寺についての説明をお聞きした後、東日本大震災の犠牲者の数の18,430個の桜で、重さ150キロもある『ねがい桜』や、一体一体、形や表情の違う五百羅漢の説明、お寺の案内をしていただきました。



その後、陸前高田市の身元不明の方のご遺骨が埋葬されている墓地へ行き、一人一人心を込めてお焼香をさせていただきました。本堂に戻り、まずは座禅体験をしました。カリタスのスタッフはもちろん、参加者全員が初めての体験となりました。



その後、本堂の畳を掃き、雑巾がけをしました。副住職さんは、「遠くから気持ちがあって来てくれたことが何よりです。今は昔と違い、若い人達がなかなかお寺に来なくなってしまった。こんな風に掃除をしていただいたことも初めてです。」と、とても喜んでくださり、私たちの為にご祈禱をしてくださりました。ありがたく、心が洗われる思いでした。

大船渡教会との交流

7月28日から、京都の洛星高等学校の生徒9名、引率2名が4泊5日でボランティア活動を行いました。

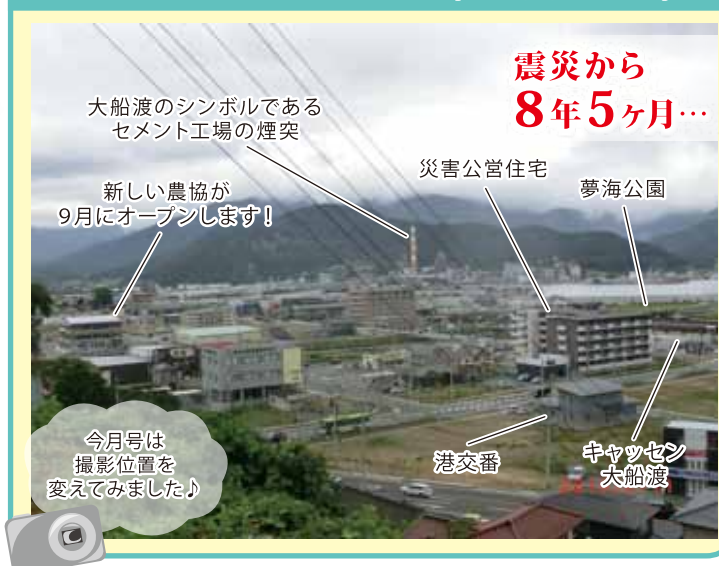
最終日の活動は、大船渡教会のミサに与りました。この日は、以前アマゾンで司牧をされ、春から釜石に赴任された堀江神父様が、初めて大船渡教会でミサをした日でもありました。神父様と教会の方が親睦を深めると共に、ボランティアさんと教会の方も交流しました。ボランティアさんは、ミサ後に校歌とフランス語の聖歌、そして信者さんと一緒に『ガリラヤの風かおる丘で』を歌いました。



ミサ後のお茶つこでは、前日の晩にボランティアさんが作ったドーナツを振るまいました。教会の方々に大好評でした。

「ドーナツを作って教会の皆さんに喜んでもらおう。」という柔軟な発想、ドーナツ作りは苦戦したようですが、一致団結して完成したチームワーク、若者らしい清々しさにあふれていました。

大船渡市の元中心地の様子 (2019/8/11 撮影)



感謝!!
登録者数
2000人
突破

ボランティア
登録者数

男性 665人
女性 1362人
⇒合計 2027人

◆7月1日~7月31日
ボランティア数
男性: 12名
女性: 36名

ボランティアさん
大募集中!

大船渡ベースでは、災害公営住宅やベース内での『サロン活動』(手芸サロン・ちぎり絵教室・抹茶サロン・ママサロンなど)や、在宅訪問など、地域の方に寄り添う活動を主として行っています。また、復興状況をご自身の目・肌で感じていただけるよう、『被災地見学』を活動に組み込んでいます。興味のある方は、是非一度ボランティアにご参加下さい。

※詳しくは、お気軽にお問い合わせ下さい。